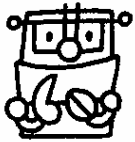


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
大地のしくみ / 理解シート

たい積岩には、どんなものがあるの



たい積岩には、どしゃが固まったもののほかに、火山灰と
か、動物の骨や貝がらなどが固まったものもあるのさ。

水のはたらきでできる、たい積岩のなかま

たい積岩の大部分は、雨水が運んだ小石やどしゃが、川底や、流れのゆるくなった川口近くにたまったものが地層になり、それが、長い間におし固められて岩石になったものです。そのため、混じっている小石は、角がまるくなっています。

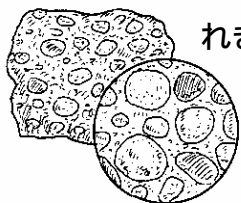
また、流れの速さの変化によって、重い小石、砂、ねん土の順で、先に川底にしずんでいくため、地層は、下の方から小石、砂、ねん土の順で積み重なっていることが多くなります。そのため、できるたい積岩は、小石が集まった部分が固まったれき岩、砂が集まった砂岩、ねん土が固まったでい岩などが多くなります。でい岩が、さらにかたくおし固められたねん板岩、けつ岩などもあります。

これらの岩石中の小石やどしゃは、川の上流にある岩石のこわれたかけらです。

火山灰や、動物の骨や貝がらが固まったたい積岩もある

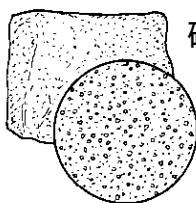
火山が多いところでは、火山灰などがふり積もった地層ができ、それが固まったぎょう灰岩や、つぶがあら集かい岩などの、たい積岩ができることがあります。

海底につもったサンゴ、フズリナ、貝がらなどの炭酸カルシウムが固まってできる石灰岩も、たい積岩です。そのため、石灰岩が変化してできた大理石のかべや柱の中には、サンゴやフズリナなどの化石が見つかることが多いものです。



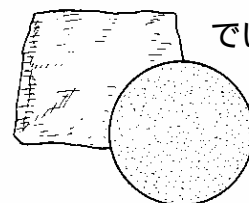
れき岩

つぶがあらく、もろい



砂岩

こわれやすい



でい岩

なめらかで、割れやすい